

2025年3月期 中間決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社デジタルキューブ
コード番号 263A URL https://www.digitalcube.jp/
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小賀 浩通
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 和田 拓馬 TEL 050 (3355) 1751
中間発行情報提出予定日 2024年12月27日 配当支払開始予定日 -
中間決算補足説明資料作成の有無 : 無
中間決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期中間期の連結業績 (2024年4月1日～2024年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	258	-	△30	-	△30	-	△28	-
2024年3月期中間期	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 中間包括利益 2025年3月期中間期 △28百万円 (-%) 2024年3月期中間期 -百万円 (-%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	△61.17	-
2024年3月期中間期	-	-

- (注) 1. 2024年3月期中間期においては、中間連結財務諸表を作成していないため、2024年3月期中間期の数値及び対前年中間期増減率、並びに2025年3月期中間期の対前年中間期増減率については記載しておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり中間純利益について、2025年3月期中間期は、潜在株式は存在するものの、当社株式が非上場であり期中平均株価が把握できないこと及び中間純損失を計上しているため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期中間期	207	2	1.2	5.51
2024年3月期	259	30	11.9	66.67

(参考) 自己資本 2025年9月期中間期 2百万円 2024年3月期 30百万円

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	0.00	0.00	0.00
2025年3月期	0.00		
2025年3月期 (予想)		-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2025年3月期の連結業績予想 (2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	661	17.3	5	171.2	5	△44.6	9	151.2	20円35銭

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 10「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期中間期	462,000株	2024年3月期	462,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	-株	2024年3月期	-株
③ 期中平均株式数(中間期)	2025年3月期中間期	462,000株	2024年3月期中間期	-株

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、中間決算短信(添付資料)3ページの「1. 当中間決算に関する定性的情報(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結株主資本等変動計算書	8
(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間(2024年4月1日～2024年9月30日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境が徐々に改善する一方で、国際情勢の影響によるエネルギー・原材料価格の高騰や、通貨間の金利差による円安状態は依然として継続しており、先行きが不透明な状況で推移しております。

当社グループを取り巻く日本国内外のクラウド市場につきましては、引き続き急速に成長しており、デジタルトランスフォーメーションに関する投資やAI、IoTといった技術への関心の強さから、様々な分野や企業及び個人がクラウド技術やクラウドサービスを活用しております。

このような経営環境のもと、当社においては「Amimoto」を中心としたWordPressのフルマネージドホスティングサービスの継続的な開発・改善を図るとともに、WordPressに特化したWebサイトの制作・インフラ保守・改善のための調査及び改善対応等を展開するほか、新規プロダクトである「FinanScope」において、上場・IPO準備企業へのサービス展開を本格化するなど、顧客基盤の強化と収益源の多様化を図って参りました。

また、子会社である株式会社ヘプタゴンにおいて、生成AIに関するサービスについて本格展開し、アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社が2024年7月22日から開始した「AWS ジャパン生成AI実用化推進プログラム」にも推進パートナーとして参画するなど、AIやIoTシステムの開発といったサービスを積極展開しております。

一方で、グループ全体での積極的な人材採用や教育研修などの人的資本投資により、営業・開発・管理にかかる人件費及び研修費等が増加いたしました。また、当社グループとAWSとの取引にかかる利用料は米ドル建てで取引を行っており、昨今の円安の影響でその利用料等が増加いたしました。

以上のような背景のもと、当中間連結会計期間における当社グループの経営成績は、売上高258,189千円、営業損失30,862千円、経常損失30,967千円、親会社株主に帰属する中間純損失28,262千円となりました。

なお、当社グループはクラウドサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載はしておりません。また、当中間連結会計期間は中間連結財務諸表の作成初年度であるため、前年同期との比較分析は行っておりません。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(流動資産)

当中間連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ75,358千円減少(37.6%減)し124,837千円となりました。これは主として、現金及び預金が43,706千円、売掛金が34,104千円減少したことによりります。

(固定資産)

当中間連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ24,184千円増加(41.1%増)し83,095千円となりました。これは主として、ソフトウェアが25,113千円、保険積立金が6,813千円増加したものの投資有価証券が5,000千円、のれんが1,426千円、繰延税金資産が1,148千円減少したことによりります。

(流動負債)

当中間連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ34,136千円減少(27.4%減)し90,662千円となりました。これは主として、契約負債が9,335千円増加したものの未払金が15,765千円、賞与引当金が14,420千円、未払消費税等が10,497千円、未払法人税等が3,437千円減少したことによりります。

(固定負債)

当中間連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ11,218千円増加(10.8%増)し114,724千円となりました。これは、長期借入金が11,218千円増加したことによりります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産の残高は、親会社株主に帰属する中間純損失28,262千円の計上等により前連結会計年度末に比べ28,255千円減少(91.7%減)し、2,546千円となりました。

(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は73,502千円(前連結会計年度末比43,706千円減)となりました。当中間連結会計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。なお、当中間連結会計期間は中間連結財務諸表の作成初年度であるため、前年中間期との比較分析は行っていません。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、支出した資金は31,555千円となりました。これは主として、売上債権の減少額34,104千円、契約負債の増加額9,335千円を計上したものの、税金等調整前中間純損失26,887千円及び投資有価証券売却益4,080千円の計上、未払金の減少額15,765千円、賞与引当金の減少額14,420千円、未払消費税等の減少額10,497千円を計上したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は25,285千円となりました。これは主として、投資有価証券の売却による収入9,080千円を計上したものの、自社利用ソフトウェアの開発による無形固定資産の取得による支出27,551千円、保険積立金の積立による支出6,813千円の発生によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、獲得した資金は13,126千円となりました。これは主として、長期借入れによる収入20,000千円を計上したものの、長期借入金の返済による支出6,874千円の計上によるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想につきましては、2024年10月18日付の決算短信で公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	117,209	73,502
売掛金	81,396	47,292
その他	1,906	4,295
貸倒引当金	△316	△252
流動資産合計	200,195	124,837
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品(純額)	0	0
有形固定資産合計	0	0
無形固定資産		
ソフトウェア	22,589	47,703
のれん	4,753	3,327
無形固定資産合計	27,342	51,030
投資その他の資産		
投資有価証券	5,000	-
保険積立金	21,329	28,143
繰延税金資産	1,317	168
その他	3,921	3,752
投資その他の資産合計	31,568	32,064
固定資産合計	58,911	83,095
資産合計	259,107	207,933

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	12,324	14,232
未払金	35,713	19,948
未払法人税等	3,662	225
未払消費税等	12,928	2,431
賞与引当金	16,894	2,473
契約負債	29,340	38,676
その他	13,935	12,676
流動負債合計	124,799	90,662
固定負債		
長期借入金	103,506	114,724
固定負債合計	103,506	114,724
負債合計	228,305	205,386
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,450	5,450
資本剰余金	37,410	37,410
利益剰余金	△12,084	△40,347
株主資本合計	30,775	2,512
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	25	33
その他の包括利益累計額合計	25	33
純資産合計	30,801	2,546
負債純資産合計	259,107	207,933

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
 (中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	258,189
売上原価	178,456
売上総利益	79,733
販売費及び一般管理費	110,595
営業損失(△)	△30,862
営業外収益	
受取利息	10
助成金収入	220
その他	194
営業外収益合計	425
営業外費用	
支払利息	530
営業外費用合計	530
経常損失(△)	△30,967
特別利益	
投資有価証券売却益	4,080
特別利益合計	4,080
税金等調整前中間純損失(△)	△26,887
法人税等	1,375
中間純損失(△)	△28,262
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△28,262

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純損失(△)	△28,262
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	7
その他の包括利益合計	7
中間包括利益	△28,255
(内訳)	
親会社株主に係る中間包括利益	△28,255

(3) 中間連結株主資本等変動計算書

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本				その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	5,450	37,410	△12,084	30,775	25	25	30,801
当中間期変動額							
親会社株主に帰属する中間純損失(△)			△28,262	△28,262			△28,262
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)					7	7	7
当中間期変動額合計	-	-	△28,262	△28,262	7	7	△28,255
当中間期末残高	5,450	37,410	△40,347	2,512	33	33	2,546

(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純損失 (△)	△26,887
ソフトウェア償却費	2,437
のれん償却費	1,426
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△64
受取利息	△10
支払利息	530
投資有価証券売却益	△4,080
売上債権の増減額 (△は増加)	34,104
未払金の増減額 (△は減少)	△15,765
契約負債の増減額 (△は減少)	9,335
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△14,420
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△10,497
その他	△3,480
小計	△27,372
利息及び配当金の受取額	10
利息の支払額	△530
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△3,663
営業活動によるキャッシュ・フロー	△31,555
投資活動によるキャッシュ・フロー	
無形固定資産の取得による支出	△27,551
投資有価証券の売却による収入	9,080
保険積立金の積立による支出	△6,813
投資活動によるキャッシュ・フロー	△25,285
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△6,874
長期借入れによる収入	20,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	13,126
現金及び現金同等物に係る換算差額	7
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△43,706
現金及び現金同等物の期首残高	117,209
現金及び現金同等物の中間期末残高	73,502

(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用の計算

中間連結会計期間における税金費用につきましては、簡便法により計算しているため、法人税等調整額は「法人税等」に含めて表示しております。

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、クラウドサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。